

肉も米もすべて津別産 今年も郷土給食

【津別】町内産の食材だけで献立をつくる「オールつべつ給食」が、津別小、津別中、津別高で提供された。児童・生徒たちは町内の農家や食品加工業者などから寄せられた津別産の肉や野菜でつくったおいしい給食を堪能した。

津別への郷土愛を育んでもらおうと、町教育委員会が2015年度から毎年1回ずつ続けており、今年で11回目。今回は19～21日に行われ、小中高合わせて約369食が振

る舞われた。

20日の給食の献立は「つべつ和牛」のブランドで知られる肉を使った牛丼。米は町内産「あっぱれ米」を使用し、地場産タマネギもふんだんに使われた。このほかジャガイモと豆腐のみそ汁、津別産のオーガニック牛乳が登場。津別小1年の門馬^{あまね}周さん(7)は「牛丼大好き。ごはんまで肉の味がして最高」と笑顔だった。

(青山秀行)

おいしそうに牛丼を頬張る津別小児童ら

